

ダイズのチョウ目幼虫の発生に注意してください！

チョウ目幼虫の発生が平年よりやや多い～多いと予想されます。
圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を徹底してください。

[現在の発生状況]

- ① 7 月下旬現在、ダイズ圃場におけるチョウ目幼虫の寄生幼虫数は平年よりやや多く(本年 0.9 頭, 平年 0.6 頭), 発生地点率も平年よりやや高い(本年 45%, 平年 26%)。
- ② 株が小さいうちに食害を受けている圃場が散見される(写真)。
- ③ チョウ目幼虫の主な発生種は、ハスモンヨトウ, オオタバコガ, ツメクサガ, サヤムシガ類等である。
- ④ 気象予報(7 月 27 日発表)によると、向こう 1 か月の気温は平年並か高く、降水量は平年より少ないと予想され、発生を助長する条件である。



写真 ダイズを食害するオオタバコガ幼虫
(播種後 14 日目の圃場にて)

[防除対策]

- ① 表を参考に薬剤防除を実施する。老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を行う。
- ② ハスモンヨトウでは、白変葉(若齢幼虫の集団加害によって白く透けた葉)の発生を防除の目安とする。
- ③ 薬剤散布の際は、葉裏や株元にも薬剤がかかるように丁寧に行う。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるために、系統の異なる薬剤を散布する。

表1 ダイズのハスモンヨトウに登録のある主な薬剤(平成24年7月25日現在)

系統名	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 — 本剤の使用回数	有効成分	無人ヘリでの 登録の有無 ¹⁾
ジアミド系	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	7-3	フルベンジ [®] アミト [®]	無 ²⁾
	プレバソンフロアブル5	4,000倍	7-2	クロラントラニリブ [®] ロール	有
その他	トルネードフロアブル	2,000倍	7-2	イント [®] キサルブ [®] 及び イント [®] キサルブ [®] MP	有
	プレオフロアブル	1,000～ 2,000倍	7-2	ピリタ [®] リル	有

1) 無人ヘリ散布を行う場合は、希釈倍数等が異なるので十分注意する。

2) フェニックス顆粒水和剤と同一の有効成分であるペガサスフロアブルは無人ヘリで登録有り。

※農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載されている使用方法・注意事項等を必ず確認のうえ、周辺作物への飛散に留意する。

表2 ダイズのオオタバコガに使用できる主な薬剤(平成24年7月25日現在)

系統名	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 — 本剤の使用回数	有効成分
生物農薬	チューンアップ顆粒水和剤	2,000～ 3,000倍	前日(発生初期) — —	BT

※農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載されている使用方法・注意事項等を必ず確認のうえ、周辺作物への飛散に留意する。